

2021 年 2 月 28 日

医学物理士臨床研修インテンシブコースを終えて

新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院 板垣裕也

2020 年 10 月より新潟大学医歯学総合病院にて医学物理士臨床研修インテンシブコースを受講させていただきました。主な内容として、治療計画の基礎から 3D-CRT(乳房温存術後照射、乳房全切除後照射、全脳照射、全頸部照射)、定位放射線治療(SRT、肺の SBRT)、強度変調放射線治療(前立腺 VMAT、多発脳転移 VMAT、頭頸部 VMAT)の治療計画について研修させていただきました。

インテンシブコースでは治療計画装置を使い医学物理士の先生の指導を受けながら、一日中治療計画に没頭することができ、わからないことや気になった所があれば適宜先生方に質問をしながら、実際臨床の現場で使えるレベルの治療計画を立てられるようになるまで練習することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

インテンシブコースのカリキュラムは自分の学びたい内容に合わせて組んでいただけるので、これから医学物理士として働く方や、すでに働いていて学び直したい部分がある方、より深く学びたいという方に効果的な研修だと思います。私の場合は今後の業務で自ら治療計画を立てる必要があるため 3D-CRT から VMAT といった広範な内容についてもカリキュラムに組み込んで学ばせていただきました。

また、朝の検討会に参加させていただいたこともよい経験になりました。放射線腫瘍医の先生方と医学物理士の先生方が様々な症例の治療計画について議論を交わしている様子を見学することで、実際自分が治療計画を立てていく際の考え方の筋道や注意しなければならない点について大いに学ぶことができました。中には大学ならではの自施設では経験できなかったような珍しい症例もあり大変勉強になりました。

今回インテンシブコースを約半年という長い期間受講させていただき放射線治療計画にじっくりと向き合う時間を得られたことで、放射線治療への知識をより深めることができました。今後は、このコースで経験し学んだことを活かし、新潟の放射線治療の発展に貢献していきたいと思っています。

最後になりますが、お忙しい中丁寧にご指導してくださった医学物理士の宇都宮悟先生、棚邊哲史先生、中野永先生、研修の場を与えてくださった石川浩志教授、コロナ禍で医療現場が混乱している中でも大学病院内での研修が行えるよう尽力してくださった新潟大学医歯学総合病院放射線部金澤勉技師長をはじめスタッフの皆様に深く感謝申し上げます。